

西九州レポート

長崎県

登録車編

佐賀県

新型車軸に需要喚起へ

長崎県の2025年度(4月～26年3月)の新車登録台数は、前年同期比3・7%減の2万2403台となり、4年ぶりに前年実績を下回った。上期(4～9月)の登録台数は前年並み維持したものの、下期(10月～26年3月)の登録台数は10月から3月まで前年割れが続いた。

25年度の登録車市場を振り返ると、4月は前年同月比11・6%増の1673台となった。5月は2・0%増の1645台とプラスを維持し、その後も6月、7月と前年を上回った。8月は、前年実績が大きく伸びた反動で、14・2%減の1473台となり、2桁ダウンした。9月も4・7%減の2048台だった。下期は10月の登録台数が7・7%減の1672台、11月は6・6%減の1762台、12月も6・4%減の1712台と前年割れ。26年1月以降も3月まで前年実績を割り込む展開が続いた。下期に登録台数が伸び悩んだ要因として、環境性能割の制度改正に伴う登録減の3048台と、のすけ込みも影響した。25年度の登録台数を主な車種別にみると、普通乗用車が10・0%減の1万2430台、小型乗用車は4・3%増の7666台、普通貨物車は11・1%減の583台、小型貨物車は20・8%増の12558台となった。26年度の登録車市場は、4月が13・8%増の1904台となり、25年7月以来の前年超え。5月も2・7%増の1690台でプラスを維持した。6月は10・7%増の2100台となり、3カ月連続で前年を上回った。

今後の市場について県内では、新型車の投入による需要喚起で、車販を伸ばしたい」と意欲を示す販売会社もある。その一方で、依然として不透明な中東情勢や、物価高を背景としたユーザーの購買意欲の低下を懸念する声も少なくない。

佐賀県の2025年度(4月～26年3月)の登録車販売台数は、前年度比5・5%減の1万6623台となり、4年ぶりに前年実績を下回った。上期(4～9月)は、前年比13・8%増の4330台と大きく伸長した。新型車の投入が相次いでおり、需要喚起につながっている。「国の電気自動車(EV)補助金の引き上げや環境性能割の廃止など、新車の販売を後押しする材料がある。新型車の積極的な投入による新型効果も期待される。一方で物価の高騰に加え、車両価格や金利の上昇による活動も減っている。従来にも増してお客さまや地域との信頼関係を深める活動も大切になる。」

ディーラー経営の課題と、その対応について「最大の課題は人材確保。整備士に加えて、営業職の新規採用も厳しくなっていると聞く。幅広い職種で人材は不足しており、獲得競争も激化している。若者に選ばれたい業界を目指して、引き続き待遇や職場環境の改善を推進していく。もう一つはコンプライアンス体制の強化。今年1月の取適法と改正行政書士法に続き、6月には改正保険業法が施行された。こうした法令や制度の変化に会員が適切に対応できるように、協会としても研修などを通じて、迅速かつ的確な情報の提供に努めていく。」

個々のニーズ見極め



「国は電気自動車(EV)補助金の引き上げや環境性能割の廃止など、新車の販売を後押しする材料がある。新型車の積極的な投入による新型効果も期待される。一方で物価の高騰に加え、車両価格や金利の上昇による活動も減っている。従来にも増してお客さまや地域との信頼関係を深める活動も大切になる。」

最大の課題は人材確保

営業職の新規採用も厳しくなっていると聞く。幅広い職種で人材は不足しており、獲得競争も激化している。若者に選ばれたい業界を目指して、引き続き待遇や職場環境の改善を推進していく。もう一つはコンプライアンス体制の強化。今年1月の取適法と改正行政書士法に続き、6月には改正保険業法が施行された。こうした法令や制度の変化に会員が適切に対応できるように、協会としても研修などを通じて、迅速かつ的確な情報の提供に努めていく。」

好材料多数 EVも活発

3・0%減の1671台だった。昨年度は苦戦した登録車市場だが、今年度に入り状況は一転。多くのブランドが需要を拡大している。4月は前年同月比20・0%増、続く5、6月も、それぞれ同4・4%増、同16・3%増と伸長し、第1四半期(4～6月)は前年同期比13・8%増と大きく前年実績を上回った。環境性能割の廃止や国のCEV補助金、ホンダや日産などの新車投入で市場は活気づいている。

電気自動車(EV)の投入も活発。新商品の発売が相次いだことで、失速気味だったEV普及の勢いが加速してきたとの声も聞かれる。EVラインアップの拡充により、車両価格や航続距離、装備など、比較対象が増えたことで、ユーザーの関心も一段と高まっている。今後の拡張に向けては「家庭での充電設備を含めたトータルでの商品知識と提案スキルの向上が必要」とし各社、EVに関する人材の育成に力を注いでいる。

長崎県自動車販売店協会 藤岡 良規会長

「長崎県内の登録車市場は、月まで4カ月連続で前年実績を上回ったものの、8月以降は前年割れが続いた。新車の受注はまずまずですが、登録ペースでは不安定な状況が続いている。26年度の市場動向をどうみているか」「物価の高騰がユーザーの購買意欲に影響している」

商品力を武器に



面もあり、新車市場の動きは読みにくいのが実情だ。ただ、長崎においても自動車は県民の生活にとって欠かせない存在。26年度の登録台数は前年実績を上回る状況が続いており、今後とも着実に伸張していくことを期待している。ディーラーとしては、安全性や燃費性能の向上など充実した商品力の新型車を柱に、提案活動を強化して新車需要の掘り起こしを図り、市場を盛り上げていきたい。」

コンプラの徹底を

は重要なテーマだ。コンプライアンスへの取り組みを徹底することが、社員を守ることに結び付く。前向きな仕事として意識すること、会社のステータスアップにも貢献する。」

「また、カスタマーハラスメント(カスハラ)への適切な対応が欠かせない時代を迎えている。何がカスハラに該当するかの判断基準が難しい中、現場任せにせずに、どうバックアップしていくかを本気で考えていくべきだろう。」



NT

長崎トヨタ

昭和グループトヨタ販売店創業の地 長崎

代表取締役社長 金子 直樹

長崎トヨタイメージキャラクター 和田 毅さん

ここから、ハチマル

80th

80th ANNIVERSARY

おかげさまで佐賀トヨタは創業 80 周年。

地域の皆様に寄り添い、挑戦を支える存在として、この地の歩みとともに道を進んできました。これから関わるすべての方々に、幸せを届けながら、まだ見ぬ景色をともに創っていきたい。私たちのチャレンジは、ここから。

佐賀トヨタ自動車株式会社

【本社】佐賀市嘉瀬町大字扇町2480 TEL0952-24-4171 営業時間 10:00～18:00 https://www.sagatoyota.co.jp



馬場グループ BABA GROUP

長崎トヨペット株式会社

営業時間 / 10:00～18:00(五島店のみ9:00～17:00) TEL.095(822)7333 https://toyota-nagasaki.jp/toyopet/

ネットトヨタ長崎株式会社

営業時間 / 10:00～18:00(サービス受付時間10:00～17:30) TEL.095(823)8020 https://toyota-nagasaki.jp/netz/

本社 / 長崎県長崎市出島町12番13号 定休日 / 月曜日・第2火曜日・第4火曜日



お客様の笑顔のため・大切なお車のため、明るく丁寧な接客・サービス整備を心がけています

佐賀トヨペット株式会社

〒849-0932 ☎0120-235-671 佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝150番地5



公式ホームページ 公式Instagram



SUPER RUN! SUPER FUN! Super-ONE

Super-ONE 国の補助金 130万円

令和7年度補正予算「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」(令和7年度補正予算CEV補助金)

補助金は申請総額が予算額上限に達し次第、受付終了となりますのでご注意ください。

(CEV補助金について) ■令和8年4月1日以後に新車新規登録された自家用車にのみ対象となります。■補助金交付の申請には期限がございます。■車両登録後、一定期間内の審査期間に申請が受理される必要があります。■交付決定後、申請者に直接交付されます。■補助金を受けた車両には、処分制限期間(保有義務期間)が設けられており、期間中は保有が義務付けられます。道路運送車両法上の種別が普通自動車、小型自動車、軽自動車、軽自動車となる自家用自動車4年間で、処分制限期間は車両の区分によって異なります。★補助金は申請総額が予算額上限に達し次第、受付終了となりますのでご注意ください。★制度の詳細や申請手続き等については、経済産業省や(一社)次世代自動車振興センターのWEBサイトでご確認ください。

THE PROFESSIONAL

優れた技術を身につけ、Honda車を熟知したプロフェッショナルスタッフによる信頼の点検・整備。



福岡県 Honda Cars

お近くの店舗など詳しくはコチラから 福岡県ホンダカーズ

佐賀県 Honda Cars

お近くの店舗など詳しくはコチラから 佐賀県ホンダカーズ

